

この秋、ふたたび香港映画に出会う——。

香港映画祭 2023

Making Waves - Navigators of Hong Kong Cinema 香港映画の新しい力

上映作品 & スケジュール決定！ 予告編も解禁！

2023年11月2日(木)～5日(日) YEBISU GARDEN CINEMA にて

平素よりお世話になっております。

昨年2022年、香港特別行政区設立25周年を記念して開催され、連日満員御礼の大盛況となった「香港映画祭 Making Waves - Navigators of Hong Kong Cinema 香港映画の新しい力」が今年も開催決定！ 本映画祭は、才能豊かな新人監督作品や、今なお輝きを放ち続けるクラシックの名作など、選りすぐりの香港映画を上映する企画で、今年もイタリア・ウディーネ、インドネシア・バリ、デンマーク・コペンハーゲン、スウェーデン・ストックホルムなど世界各地を巡回し、日本では、2023年11月2日(木)～5日(日)、YEBISU GARDEN CINEMA にて開催いたします。

このたび、上映作品全7本のラインナップおよび上映スケジュールが決定しましたのでお知らせいたします。全7作品のうち今回が日本初公開となる新作映画は、アーロン・クオックとトニー・レオンの初共演が大きな話題となり2022年度アカデミー賞国際長編映画賞部門の香港代表作品に選出された犯罪ドラマ『風再起時』(2022)、香港の人気ボーイズグループ「MIRROR」のアンソン・コンが主演を務めた、サスペンス色豊かなホラー映画『7月に帰る』(2023)、東京国際映画祭をはじめ世界各国の映画祭で絶賛された『リンボ』(2021)のソイ・チェン監督が、前作につづいてラム・カートン主演で放つ最新作『マッド・フェイト』(2023)、ルイス・クー、アーロン・クオック、ラウ・チンワンの豪華共演とド派手なアクションが異彩を放つ『ホワイト・ストーム 世界の涯て』(2023)、それぞれに秘密を抱える家族の再生を描いた『ブルー・ムーン』(2023)の5作品。また、今年2023年の旧正月に公開され香港映画史上初の1億香港ドルを突破し、歴代興収第1位(※2023年9月1日時点)に輝いた法廷ドラマ『毒舌弁護士～正義への戦い～』(2023)が上映されるほか、レスリー・チャン演じる売れない映画監督がポルノ映画にチャレンジする姿を通し、映画業界の内幕を描いた香港版『アメリカの夜』とも評される傑作コメディ『夢翔る人／色情男女』(1996)の2Kデジタル・レストア版がされるのも見逃せません。

現地・香港で公開され大ヒットした作品から、これからの香港映画界を担う期待の新人監督作品まで、充実の7作品が揃いました。香港映画に出会い、香港映画の“いま”を堪能する貴重な本映画祭を、ぜひともご紹介くださいますようお願いいたします。

予告編 Youtube: <https://youtu.be/hoAllgsxfBk>

予告編データ・画像(ポスター・上映作品画像)ダウンロード URL:

<https://www.dropbox.com/scl/fo/px2w7x027g9xs55s16el8/h?rlkey=2ik00fipk05gemvj694evs1we&dl=0>

■ 上映作品

① 風再起時 ※オープニング作品／日本初上映

風再起時／Where the Wind Blows／2022年／144分

監督: フィリップ・ユン(翁子光)

出演: アーロン・クオック(郭富城)、トニー・レオン(梁朝偉)、パトリック・タム(譚耀文)、リチャード・ン(吳耀漢)、マイケル・ホイ(許冠文)

1960～70年代、汚職が横行していた暗黒時代の香港を舞台に、実在した汚職警察官を描いたクライム・サスペンス。「四大天王」アーロン・クオックと、香港が世界に誇る俳優トニー・レオンの初共演が大きな話題となった。本作でトニー・レオンが2023年アジア・フィルム・アワード最優秀主演男優賞を受賞したほか、『Mr. BOO!』シリーズで知られるベテラン俳優マイケル・ホイが汚職捜査機関「廉政公署(ICAC)」の委員を演じ、2023年香港電影金像獎最優秀助演男優賞を受賞。



© Courtesy of Mei Ah Entertainment Group Limited. All Rights Reserved.



② ブルー・ムーン ※世界初上映

望月/Once in a Blue Moon/2023年/103分

監督:アンディ・ロー(羅耀輝)

出演:グラディス・リー(李靖筠)、ピーター・チャン(陳湛文)、ロレッタ・リー(李麗珍)

コンビニで働く娘、妻との別居を隠している息子、そして彼らの母。それぞれに秘密を抱える家族の再生を描く。2023年大阪アジア映画祭で上映された『深夜のドッジボール』(2022)でヒロインを演じたグラディス・リーと、昨年香港で大ヒットを記録した『6人の食卓』で三男ルン役を演じたピーター・チャンによる姉弟を女手一つで育ててきた母親役に『最後勝利』(87)など80~90年代の香港映画で活躍したアイドル出身の俳優ロレッタ・リーが扮し、中年の諦念をにじませて好演。



© Emperor Film Production Company Limited. All Rights Reserved.

③ 7月に帰る ※日本初上映

七月返歸/Back Home/2023年/102分

監督:ネイト・キー(謝家祺)

出演:アンソン・コン(江熾生)、バイ・リン(白靈)

香港の人気ボーイズグループ「MIRROR」のサブリーダーAKことアンソン・コンが主演を務めた、サスペンス色豊かなホラー映画。幼い頃から陰と陽の目を持ち、幽霊を見ることができるホンウインは、ある日母親が自殺未遂をしたという知らせを受け、かつて暮らした家に戻る。慣れ親しんだ場所に帰ってきた彼に、次々と奇妙な出来事が起こる——。ホラー小説家でもあるネイト・キーが、映画製作会社「MM2」による新進監督プロジェクト賞を受賞し、本作で長編監督デビュー、脚本も手がけている。



© mm2 Studios Hong Kong Limited/ the Government of the Hong Kong Special Administrative Region 2023. All Rights Reserved.

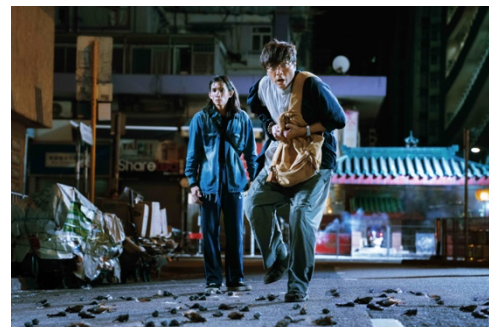
④ マッド・フェイト ※日本初上映

命案/Mad Fate/2023年/108分

監督:ソイ・チェン(鄭保瑞)

出演:ラム・カートン(林家棟)、ヨン・ロツマン(楊樂文)、ン・ティンイップ(吳玉壽)、ピーター・チャン(陳湛文)

「運命」をキーワードに描かれる、残虐で重厚なサスペンス。東京国際映画祭をはじめ世界各国で絶賛された『リンボ』(2021)のソイ・チェン監督が、『リンボ』に続いてラム・カートンを主演に迎え、ジョニー・トーププロデュースで放つ最新作。今年2023年のベルリン国際映画祭でプレミア上映され、第47回香港国際映画祭のオープニングを飾った。占い師を演じるラム・カートンはもちろん、サイコパスを演じる、香港の人気ボーイズグループ「MIRROR」のリーダー、ヨン・ロツマンの演技も見どころ。



© 2022 MakerVille Company Limited and Noble Castle Asia Limited. All Rights Reserved.

⑤ ホワイト・ストーム 世界の涯て ※日本初上映

掃毒3: 人在天涯/The White Storm 3: Heaven or Hell/2023年/125分

監督:ハーマン・ヤウ(邱禮濤)

出演:ルイス・クー(古天樂)、ラウ・チンワン(劉青雲)、アーロン・クオック(郭富城)、ラム・シュー(林雪)、ロー・ガーリョン(羅嘉良)

アウ(ルイス・クー)は潜入捜査官チャン(アーロン・クオック)とともに麻薬王カン(ラウ・チンワン)の組織で働いており、3人は兄弟の絆で結ばれている。香港警察に追われたカンはタイに逃亡するが……。2013年『レクイエム 最後の銃弾』(原題:掃毒)、2019年『ホワイト・ストーム』(原題:掃毒2 天地対決)に続く「掃毒」シリーズ第3弾だが、続編としてストーリーの関連性はなく、麻薬捜査班と麻薬組織の激闘を描くというテーマのみを引き継いだ最新作。爆発連続のど派手なアクションが壮大なスケールで繰り広げられる。



©2023 Universe Entertainment Limited. All Rights Reserved.

⑥ 毒舌弁護人～正義への戦い～

毒舌大状／A Guilty Conscience／2023 年／133 分

監督: ジャック・ン(吳焯倫)

出演: ダヨ・ウォン(黃子華)、ツェー・クワンホウ(謝君豪)、ルーズ・ウォン(王丹妮)、フィッシュ・リウ(廖子妤)、マイケル・ウォン(王敏德)、ホー・カイワ(何啟華)

提供・配給: 樂天グループ株式会社

2023 年の旧正月に公開され、香港映画史上初の 1 億香港ドルを突破し、歴代興収第 1 位(※2023 年 9 月 1 日時点)に輝いた法廷ドラマ。昨年香港で大ヒットした『6 人の食卓』でも主演を務めた国民的スター、ダヨ・ウォンが人々のため、香港のために法廷で戦う“毒舌弁護人”を熱演しているほか、『アニタ』のルーズ・ウォン、『リンボ』のフィッシュ・リウら豪華キャストが顔を揃える。監督のジャック・ンは、ダンテ・ラム監督『クリミナル・アフェア 魔警』(2014)などの脚本家として知られ、本作で監督デビューをはたした。



© 2022 Edko Films Limited, Irresistible Beta Limited, the Government of the Hong Kong Special Administrative Region. All Rights Reserved.

⑦ 夢翔る人／色情男女 [2K デジタル・レストア版]

色情男女／Viva Erotica／1996 年／99 分

監督: イー・トンシン(爾冬陞)

出演: レスリー・チャン(張國榮)、スー・チー(舒淇)、カレン・モク(莫文蔚)、ラウ・チンワン(劉青雲)

売れない映画監督のシン(レスリー・チャン)のもとにやってきた新たな仕事は低予算のポルノ映画。しかも主演の新人女優モニクは我がままな大根役者で、映画作りは空回りする一方……。映画業界の内幕を描いた、香港版『アメリカの夜』とも呼ぶべき映画愛溢れる傑作コメディ。劇中のワンシーンをレスリー自身が監督したことも話題に。美しい肢体を大胆に披露しモニクを演じたスー・チーは、本作で香港電影金像奨新人賞と助演女優賞をダブル受賞し大ブレイクした。公開当時「出演作中最も好きな映画」とレスリーが公言していた愛すべき作品がスクリーンに蘇る！



© 2006 Gala Film Distribution Limited. All Rights Reserved.

香港映画祭 2023

「Making Waves - Navigators of Hong Kong Cinema 香港映画の新しい力」

2023 年 11 月 2 日(木)～5 日(日)

会場: YEBISU GARDEN CINEMA (東京都渋谷区恵比寿 4-20-2 恵比寿ガーデンプレイス内)

※全て日本語字幕付き上映

■上映スケジュール

		16:30～	19:20～
11月2日	木	7月に帰る	風再起時
11月3日	金・祝	マッド・フェイト	毒舌弁護人～正義への戦い～
11月4日	土	ブルー・ムーン	風再起時
11月5日	日	ホワイト・ストーム 世界の涯て	夢翔る人／色情男女

◎チケット料金:1,300円均一(税込)
※チケットは日時・座席指定券です。
※ご購入後の変更・払戻しは承れません。
※特別上映のため、学生・シニア等各種割引はございません。

◎購入方法:

【オンライン】

YEBISU GARDEN CINEMA オンライン・チケットイング

<https://www.unitedcinemas.jp/ygc/ticket.html>

10月26日(木)0時(25日(水)深夜24時)より販売開始

【劇場窓口】

10月26日(木)劇場オープン時間より

※オンライン販売で完売になった上映回については劇場窓口での販売はございません。

※特別興行のため会員サービス及び各種割引はご利用いただけません。

※劇場の営業状況等により、変更となる場合がございます。

【映画祭 概要】

「香港映画祭2023 Making Waves – Navigators of Hong Kong Cinema 香港映画の新しい力」

日程:2023年11月2日(木)~5日(日)

会場:YEBISU GARDEN CINEMA

公式サイト <https://makingwaves.oaff.jp/>

主催:香港特別行政区政府 駐東京経済貿易代表部 香港国際映画祭協会 協力:大阪アジア映画祭

助成:香港特別行政区政府 創意香港 電影發展基金



※ご紹介にあたって映画祭名を略称で記載の場合は、「香港映画祭2023 メイキングウェーブ」もしくは「香港映画祭2023 Making Waves」でお願いします。

公式サイト: makingwaves.oaff.jp

公式 Twitter: @MakingWaves_HKC

公式 Facebook: MakingWavesHKC

【映画祭についてのお問合せ】 一般社団法人大阪アジア映画祭 makingwaves@oaff.jp

2023年11月2日(木)~5日(日)、YEBISU GARDEN CINEMAにて開催!